

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ユニオン不動産株式会社様	階数	地上9F
建設地	大阪府豊中市曾根東町	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	90人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2023年2月8日
敷地面積	803㎡	作成者	須口真樹
建築面積	420㎡	確認日	2023年2月8日
延床面積	2,919㎡	確認者	須口真樹

本表を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、外観写真を貼り付けることができます。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境: 2.7, 温熱環境: 2.5, 光・視環境: 3.3, 空気質環境: 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

機能性: 2.3, 耐用性: 2.7, 対応性: 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

生物環境: 1.0, まちなみ: 1.0, 地域性・: 1.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物外皮の: 3.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 4.2, 効率的: 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

水資源: 3.0, 非再生材料の: 2.4, 汚染物質: 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

地球温暖化: 3.2, 地域環境: 2.3, 周辺環境: 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
太陽光発電設備を採用するとともにBEI<0.90となるよう設計を行い、建築物の省エネルギー化を図っている。		特に無し。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
全ての建材についてF☆☆☆☆を採用し、化学汚染物質による空気室汚染を低減しました。外皮性能は建築物省エネ法に適合させてました。	特に無し。	道路面に植栽を一定程度配置することにより、街並みや景観に配慮しました。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱性能等級3相当とし、高い断熱性能により熱負荷の低減を図っている。	特に無し。	特に無し。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0120

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)ユニオン不動産株式会社様マンション							
	建設地	大阪府豊中市曾根東町							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B-					
①	CO2削減			3					
②	みどり・ヒート アイランド対策			2					
③	建物の断熱性			3					
④	エネルギー削減			4					
⑤	自然エネルギー直接利用			○					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

## エネルギー消費量の報告

対象外

### 【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.2	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

### その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項	太陽光発電設備を導入し、BEI<0.90となるよう設計を行い、建築物の省エネルギー化を図った。	